事例 07

東京都 八王子市

～あなたのみちを、あるけるまち～

高尾山ケーブルカー

町の素顔

人　口　561,872人（R2.9.30）
高齢化率　27.20%（R2.9.30）

東京都心から西へ約40kmに位置する東京都初の中核市。21の大学を抱えた学園都市として発展中。姉妹都市のひとつに北海道苫小牧市がある。

担当部署　八王子市福祉部高齢者福祉課

事例に関するワンポイント

- 要支援･要介護認定者の割合：18.7%（令和2年9月末）
- 生活支援提供団体の利用者：80歳代と介護保険認定者がそれぞれ5割以上、生活に安心感が得られている方が6割以上（平成28年度）
- 地域の活動を尊重し、その活動を阻害しない柔軟な支援制度

平成29年度から住民主体による訪問型サービスを本格実施している八王子市では、現在29団体が活躍し、年間6千人以上（令和元年度）がそのサービスを利用しており、将来的な高齢者人口の増加と地域で起こり得る多様な課題に自ら“備えるための地域づくり”を住民主体による活動支援の視点として取組んでいます。そのため支援内容等を行政側の枠にあてはめるのではなく、「困っている住民がいれば、自分たちができる範囲で、できることをする」という実践者の意見を基に、「自分でできる範囲を広げる」、「高齢者が地域とつながる」、「今の活動が継続できる」といった3点から、利用者個人を支援するだけではなく、「自らも参加しやすく、かつ団体が継続し活動できる仕組み」の構築を目指しています。

そのために設けられている補助制度は、サービス提供団体の活動を尊重し、その活動を阻害しないように支援が行われていることが大きな特徴で、サービス内容についても多様な困りごとを支援するためにその内容や利用者負担を各団体に委ねることで、柔軟な支援を実現しています。

補助制度には、団体と市等とを調整する助け合いコーディネーター（※1）への「人件費」（上限3万円／月･使途不問（食糧費、工事費等を除く））を基本とし、家賃や自動車等への「賃借料」（上限2万円／月）、担い手の「介護予防」を目的にした事務費の加算（上限1～2万円／月。従事者数により変動）があります。

これに加えて、令和元年度から事務費として「地域課題チャレンジ加算」と「通いの場加算」の2つの加算枠（いずれも上限1万円／月）が設けられ、活用効果を踏まえ、より良い制度の検討が続けられています。なお、これらの加算額は上限5万円／月となっています。

地域課題チャレンジ加算と通いの場加算の活用例

散歩道に休憩できるベンチを設置／救急医療カードの作成･配付／認知症の方の居場所づくり／社会参加のための街の花壇整備／大学と連携した脳トレツールの活用実験

また、活動団体が補助制度を活用する準備段階から生活支援コーディネーター（以下SC）（※2）が関わりを持ち、地域ニーズを取り入れた継続的な活動となるよう伴走支援を行うほか、助け合いコーディネーターとSCが連携し、地域の課題解決を図るなど、生活支援体制整備事業と連動した取り組みとなっています。

（※1）助け合いコーディネーター…サービス提供団体のスタッフの中から1名を指名し、主に市や地域包括支援センター等との連絡調整を行う。SCの第三層的な役割を期待。
（※2）SC…八王子市のSCは、第一層が高齢者福祉課の職員等、第二層が市社協の職員。

川口福寿草の会

所在地　東京都八王子市川口町1473-7
代表者　白鳥 信行
スタッフ数　31名
利用料　1時間500円
設立　平成30年

「ちょこっとベンチ」とスタッフ

八王子市北西部に位置する川口町に拠点を置く川口福寿草の会は、拠点周辺地域を中心に活動を展開しています。地域の高齢化が進むなか、高齢者が少しでも安心して生活ができるよう、住民同士でお互い様の助け合いができないだろうかという地域内での会話をきっかけとして、活動が始まりました。団体の立ち上げ当初は、生活支援の依頼は少なかったものの、利用された方々の口コミや町会の協力を得てチラシを配布するなど、PR活動を積み重ねたことにより徐々に活動が浸透し、現在では月に延べ100件の活動を行っています。70代のスタッフを中心に80代までのスタッフが活躍し、その3割は男性です。

同団体が行っている生活支援は、掃除、外出付き添い、軽作業等、多岐に渡り、地域住民から直接の依頼のほか、地域包括支援センターとの連携により紹介される依頼（草むしり・家事援助など）もあります。なお、利用料は1時間あたり500円（1人）（材料費は実費負担）です。

生活支援における活動内容（川口福寿草の会）

掃除	室内清掃、室外清掃、庭作業（剪定・草取り）、家具移動、窓ふき
洗濯・調理	洗濯、調理
外出付き添い	買い物付き添い、買い物代行、通院・散歩付き添い、車を利用した外出付き添い
見守り	見守り・傾聴、安否確認
その他	軽作業（家具修理、電球交換、裁縫等）、PC等操作補助

生活支援以外の活動としては、地域交流の場づくり（第2日曜日:麻雀、第3金曜日:カフェ、第3土曜日:サロン（食事、脳トレ、出前講座））を実施しています。※新型コロナウイルス感染症により4月から休止中。

また、企業との連携により、民間企業所有の空き地を活用し、ひと休みできる『ちょこっとベンチ』を製作するなど、地域住民が立ち寄れる場づくりにも取組んでいます。八王子市のホームページ（https://www.city.hachioji.tokyo.jp/kurashi/welfare/001/houmon_b.html）では、東京造形大学（市と包括連携協定を締結）と連携し、大学の持つ専門性を活かした地域活動紹介動画を制作し公開しています。

八王子市で訪問型サービスBを実施している全団体

いきいきらいふの会／（特活）めじろむつみクラブ（MMC）／（特活）長寿社会を考える会／片倉台福祉ネットワーク／絹一ふれあいネットワーク／ハッピーステーション きよぴー／どんぐりの会担い手サポートセンター／きたご助け合い活動（互助ネット）／めじろ台安心ねっと／ティータイム「頼もう会」／川口福寿草の会／いきいき支援クラブ／（特活）小津倶楽部／川口ブラボークラブ／「つくしの会」／フキノトウ／バラエティクラブ八王子／高尾台自治会高齢者支援連絡協議会／ハモニカ／ネットワーク ふぁいん美山／おだのみや会／みんなの居場所「暖炉」／TID お助け隊／ふれあい タッキー／北野台助け合いほっとライン／館ヶ丘自治会／たまり場「諏訪荘」／ホーメストタウンおたすけ隊／南大沢お助けクラブ

※**太字**は団体単独で動画が公開されている団体